

【めむろ未来ミーティング日程1】

令和5年1月10日(火)

10:25～11:30

上美生農村環境改善センター

■参加者 31人

■芽室町 町長、教育長、政策推進課長、農林課長、
環境土木課長

■記録 政策推進課長補佐、広報広聴係長

■対応・検討が必要な事項

①上美生公園への遊具の設置など公園そのものの
在り方の進ちょくと今後の進め方(環境土木課)

②農業機械の大型化を意識した道路パトロール実施
への要望(環境土木課・農林課)

1 開会

2 町長挨拶

3 町からの説明事項

資料1 公共施設等再配置構想

資料2 まちなか再生の取り組み

資料3 マイナンバーカード臨時窓口

資料4 芽室町 LINE 公式アカウント説明書

4 意見交換

【意見】

1 か月前、町内会役員会が行われ、そこで、子ども会の役員から質問があったことについてお聞きしたい。
上美生公園の遊具の件①で、4～5年前(令和元年)に地区協議会の役員会の前に町から説明されたかと思う。そのときは、役員自体も遊具に前向きな方がいなかったり、公園を主に使う世代ではなかったのもう少し実際に利用する機会のある保育所の親御さんた

ちに説明してもらった方がいいのではないか？ということだったかと思うが、その後の経緯がわからない。

保育所の保護者の中でも説明されたかと思うが、その後の進ちょくをお伺いしたい。

【環境土木課長】

令和元年から地区の役員の皆さんに公園の在り方等を意見交換させていただいた。

その議論の前段としては上美生にお住まいの方からホットボイスなどで遊具が欲しいというご意見もあり、町も遊具の設置に向けて地区の役員の皆さんと意見交換したところである。1 回目は地区の役員の方を中心に行い、その後、保育所の保護者の方とも話したところだが、その時点では、上美生全体として公園をどうしていくかという結論を出すのはまだ時間がかかるということが示されたため、令和2年度に遊具設置に向けて予算計上していたが、いったん中止したところである。

防災公園として整備してはどうかといったご意見もあり、そこでいったん議論は止まっているところである。

【意見】

いったん白紙になっているという理解か。そうだとすると、地区からこういう風にしてほしいという話をもっていくべきなのか。保護者からの意見だけでは、決められないということなのか、進ちょくがわからなかったことと、どう進めていいのか戸惑っているところ①だったのでお話しさせていただいた。

【町長】

当時の議論の最後の方では「遊具設置だけであれば予算組み可能だ」ということでいったん進めたが、お子さんを持つ保護者世代や地域の皆さんの理解で進めていきたいということで、白紙ということではないが、いったん立ち止まったと理解している。

保護者や地域の皆さんで話をいただいた上でご要望をいただくのが、町としても予算付けをしやすいことは事実。地域全体としてまとまっているご要望であればなおのことである。要望のすべてをかな

えられるかは別であるが、改めて議論いただいて進めていければ。

【意見】

町内会でも遊具は欲しい人、不要だという人と、温度差があるので、保育所などの公園をよく使う対象がいる方が中心になって進めたほうがいいかなという考えもある。

【町長】

おっしゃることはその通りとは思いますが、公園は小さな子どもたちのためだけのものではないと思うので、最終的には地区全体にいかがでしょうかという話をさせていただくことになると思う。

とりまとめが難しいということであれば、町の担当も地域に入ってとりまとめさせていただくということもできようかと思うので、そこは改めて話していきたい。

【意見】

同じところで、令和元年ということでコロナ前に公園の話が出ていたと思う。そのあと、保育所の方とお話しされたということであったが、そのときの経過など全然知らなかった。私は公園のトイレの管理もしているが、日ごろの利用状況をみていると、子どもも少なくなってきた、ほとんど遊んでいないというのが現状だと思う。保育所でも月に2、3回くらいしか見ない。

芝生でご飯食べたり、お弁当食べたりもたまに見かけるくらいである。近所に聞いても、遊具はいらない、何もないのがいいという意見もある。そんな中で、どういって遊具が必要となったのかわからない。町内会で、そのあたりの経過を把握していない状況で進んでいくのはちょっと疑問。

先日、ある県内で、子どもの声がうるさいから公園を閉めるという問題も出ていたが、よくよく話を聞くと、子どもの声がうるさいという苦情があったからそれで廃止したということだけではなくて、もともと民間の土地を借りて、市が整備した公園で、児童クラブの父兄会が管理していたところだったけれど、父兄会の方から管理できないということで、公園廃止への要望書が

出されたこともあって、決断に至ったということだった。

今回のことも、町まで意見が届いているということだが、必要、不必要両方の意見があるので、地区としてまとめていかないといけないかなと思う。①

【町長】

いろいろなご要望を町として受けないということにはならないので、ご要望があることを否定はできない。ホットボイスとしての要望も大事な声だと思う。ただ、地域の総意としてどうか、ニーズがあるかなど、町としても町内会でまとめるのも難しい現状であれば町の担当も入って行って、調整させてもらうということはありうる話かと思う。

【意見】

他県の例だと、該当の公園以外にも周辺にたくさん公園があって、子どもたちが別の場所で遊ぶことに差し支えないという話だったので、また状況も異なるのかなと思う。

条例や規則で小学校や保育所の遊具を使ってもよいということにもなっているとのことで、十分遊べる場所があるということのようだ。

芽室町の学校にも遊具はあるが、近くの子たちが学校があるときや、学校のない土日などに使うことはよいのだろうか。

【教育長】

土日に遊具を使うということは可能であるが、事故がおこらないかということが心配。

施設管理は、校長の責任となりますが、危険防止の観点では、目の届かない時間帯や土日に使ってもらう際には心配はあるということです。

地域の中での学校ということで、どのように学校の遊具を使えるようにするかということについては、学校としての判断もあり、今日はたまたま上美生小学校の校長も参加しておりますので、現状のお話をしていただきたいと思います。

【上美生小学校校長】

土日は承知はしてないが、現状、子どもたちが平

日遊びに来るかと言えば、そういうことはない。放課後、帰る前に遊ぶという現状はありますが、とりたてて、平日、子どもが遊びにきているかといえば、そのようなことはない。

土日については、子どもだけで遊んでいる現状はあると思うが、学校として管理上できるのは、年1回の定期や日常の安全点検なので、学校業務以外で職員がいなかったということではなにか事故があったとしても対応できない。

【町長】

改めてこの公園の件について、確認させていただきたいが、ご質問の意図は、実際に要望として改めて上げようという段階なのか、それとも、現状確認ということだったのか？

【意見】

現状確認の意味です。その後の経過についてアクションがなかったので、この場で伺ったものです。

【町長】

ありがとうございます。

今申し上げたように、これまでの経過の説明もできますので、あらためて行いたいと思う。

そして、保護者の皆さんも、お子さんの成長とともに年代がどんどん変わっていき、ニーズも変わるので、そこが難しいところ。地域の人数の変化もある。そのような意味では、できれば地域の皆さんが理解、納得して進めていくことが必要かと思うので、遊具を作る、作らない含めて、要望があれば受けないということはないので、もし、話があれば地域の方に呼び掛けていきながら、進めさせていただければと思う。

【意見】

同じく公園のお話で、地区協議会やほしぞらプラン会議で議論してきた中では、保育所の保護者の皆さんからは要望があることと、逆にいらないという声ももちろんあることを把握している。

「上美生をデザインする」というワークショップを行った

ときに、公園や小中学校、上美生のこの農村環境改善センターなど、課題をみんなで話そうというときに、こんな公園になったらいいなという話もあったと思うけど、そのあと、コロナで議論が止まったかなと。

閉園した保育所の遊具をもってきてつけるという話だったので、それがいいのかということや、管理上の課題、お年寄りも使える公園じゃないといけないよねという課題もあった。①

農村環境改善センターの改修の話も今後出てくると思うが、例えば、そういうところで避難する場としてとか、多世代が使えるようなものをセンターの改修と合わせて考えていくことはできるのか？

【町長】

それはもちろんできるかと思う。

あいあい公園などは、そういう観点で作られていて、一時避難所として機能する場所を地域として作りましょうという話があった。そういう発想はありだと思う。地域全体いろんな年代で活用の希望があれば整備していく余地があると思う。

実際にそのようにしている地域もあり、大事な視点であると思う。

【意見】

上美生保育所のことで、運営協力会に携わっています。

来年度から多くの子どもが、他の保育所に行く予定をしている。8人中7人が別の保育所に行く予定なので、もう一人は、連絡を取り合っていないのでわからないがそのような状況である。

そこで、来年度から別の保育所に通う子たちへの負担などがあると思うが、そこへの交通費や交通手段の支援を考えてもらえないかということと、もし、来年度上美生保育所に通う子が0人となったときに、上美生保育所の先生の職場のこともあるのかなと思うので、そのあたりを早めに相談したいと思い質問した。

【町長】

ありがとうございます。

上美生保育所の現状としてお話は私も聞いている。

今の段階でのお話をさせていただく。

一つ目の交通手段や交通費の負担についての経費支援というのは、失礼かもしれないが、今回の場合は、保護者みなさんの選択によって通所する保育所を変える選択をされたものだと思うので、今のところ考えてはいません。当時、ひだまり保育所を整備し、他の地域からもこの保育所に来てくださいというような集約した時の方針とは状況が違うと考えています。

もう一点の、通う子どもがゼロになったときのということです。現段階では、お一人でも通う方がいれば、その方に違う保育所に行ってくださいとはならないし、しっかり体制を整える考えです。通う子が一人であっても、最低でも先生は2人体制を確保するような形になると、今のところは考えている。

少なくともお一人は通うという前提で考えているので、休所とはならないかなと思っている。

今後については、お子さんの状況もあるかと思う。さきほどの新年交礼会のごあいさつでもお話しさせていただいたが、学校、保育所、農村環境改善センターそれぞれについて、しっかり議論していく段階にもあると考えている。

お一人でも通う子がいれば体制を整える。通う子がゼロとなれば、今後の動向も含めて地域の皆さんともお話ししていかなければならないと思っている。

【意見】

さきほどの公園の遊具の話に付随して、意見を述べたい。①私はまちなかに住みながら、上美生の方に通う生活をしている。自分の住んでいる市街地の近くには公園が2か所くらいあるが、眺めていると一日10人も遊んでいないように感じる。

あまり細かい地域に縛られるというよりは、もっと新嵐山を使ったり、大きな公園を使ったりという観点で、大人も子どもと一緒に遊べるようなところを作っていくのがいいのではないかと①と思う。

芽室町全体でも少子化が進んでいるので、大きなイベントができる場所を確保していくようなことで、町全体が活性化するのではないかなと思う。

地域ごとに細分化しすぎると管理のコストがかかるような気もするし、もっと全体的なことを視野に入れていけばよいのではないのでしょうか？

【町長】

ご提案、ありがとうございます。

公園の種別で、「^{がいく}街区公園」という決まりがある。これぐらいの地域にはこれぐらいの公園が必要というように基準に基づいて公園の整備が行われてきたが、おっしゃるように地域の状況が変わり、地域の人口が減っていくという状況になっていると、当時の基準と今の実態がずれているということはあると思う。

そのような街区公園の基準に照らした見直しというのは今後、必要なものになってくると思う。

もう一つ、それと「都市公園」である芽室公園などは、イベントや親子が集まるといった町民の憩いをメインとして、外から芽室町を訪れる人にとっても魅力的になるような検討をしている。

おっしゃるとおり街区公園については、利用率の低く、人口が減っているところを変えていくことはありだと思うので、考えとして参考にさせていただきたい。データも見ながら進めたい。

性格の違う2つの公園があるので、それぞれ過ごしやすいところになるようにしていきたい。

【意見】

お願いというか要望です。

道路系のことで、新嵐山の旧キャンプ場やそこから上美生方向の道道の両側一帯について、平成28年度の台風やおとしの12月の強風以降、倒木がたくさんあり、うっそうとしたものがやはりそのまま残ってしまっている。イメージであるが、このうっそうとした雰囲気がよくない。過疎化を連想するような気持ちもなあって、市街地の人には上美生のことを忘れられているような気持ちになる。新嵐山の整備は進んでいるが、道道や13号もうっそうとしている。その先に住んでいる我々上美生のところまで足を伸ばしてみようという人がなかなか来ないのも、それがあのような気がする。

それと関連して、農業機械が大型化している中で、町の黄色い車が道路の巡回パトロールをしてくれているが、できるだけ高いところ、「上の部分」を見てほしい。

道路側溝にかかる上空の部分の枝が出ているところもあり、農業機械の通行に影響が出る。そこは地域の草刈りでは届かないので、ぜひ、そのあたりの意識、大型の農業機械を意識して、路盤が下がっているところとか、上の枝がはびこっているところの整備も意識してもらいたい。必要に応じた整備もお願いしたい。②

【農林課長】

町有林や国有林、道有林の話をさせていただく。町有林はもちろんですが、国が所管するものや河川林については、地域からの要望も出ていますし、イメージとして理解できますので、要望していきたいと思っています。

町有林や林道は、町で予算化していますので、要望もしつつ、町が所管するところはしっかり対応してまいります。

【町長】

私の経験から、農業機械が高いところに支障があるということは、パトロールカーで分からない部分もある。

引っかかる場所があることは理解している。ぜひ、ピンポイントで場所を言ってもらえると、やりやすいという部分もある。民有地のものであれば、持ち主の理解も必要となってくる。

以前、別の地域では、道路のカーブのところで引っかかる場所を地域から要望してもらって対応したこともある。高所作業車となると予算も踏まえて対応となるが、パトロールだけで分からないことと、路盤も含めて整備しないといけないところは意識したいと思う。

【意見】

防風林の話で、防風林が少なくなっている。提案したいことが一つあり、耕地防風林もそうだが、道路防風林、屋敷防風林という視点で、景観や環境も意識

して、町民みんなが関心を持てるような切り口で、整備に取り組んではどうかと思っている。

自分にできることは、「活用」の方をもっと検討しないといけないと思い、カラマツ防風林を伐採してセカンドハウスを手作りをしたりしている。普通に建てるのの半値でできるので、そういう活用も同時に公開しながらできることをやっていきたい。

【農林課長】

耕地防風林は、町としては必要と思っている。増やすというよりはどんどん減っている現状から戻したい。

そのような観点で、現在、川北地区をモデルに、2か年にわたって風向・風力の調査をしていて、科学的に必要な場所を図面に落とし込み、それに基づいて地権者の方と話をし、植樹を進めるという取り組みをしている。ご承知のように、一方で機械の大型化やGPSのことで防風林は不要という声もある。

そこで、カラマツなどの従来の樹種ではないようなもの、あまり枝が広がらないような樹種なども含めて検討し、地域とも協議している。これをモデルに最終的には、全町に広げてやっていけないかということで、進めているところである。

道路防風林や屋敷防風林という考えも含めて、防風林に戻していくということに取り組みたいと思っている。

【町長】

ご提案のあった「活用」のことで、出口ベースの話しは、資材も高騰しているので、ある意味、半値でできるセカンドハウスというのは、カラマツの活用として、脚光を浴びる可能性もある。そういう点でPRについて側面的に支援できる場合もあろうかと思う。

【意見】

防風林のことで、個人が植えるのはいいが、山林だと植林や草刈りに補助が出るが、耕地防風林だと、管理ができないということで、なんとか植えてから定着していくまでの3年間に支援があるといいなと思う。

川北のモデルもやられているということであるが、3

年間あれば定着していくということでそのあたりも検討してもらいたい。

【意見】

この改善センターの近くの町有林、台風で倒れている。前回の12月の強風は夜間だったので人もいなくて大丈夫だったと思うが、昼間の災害だったら被害が出るかもしれない。そうなる前に何度か要望はしているが対応してほしい。

もともとは学校用地になっていて、今は学校用地ではないと思うのですが。当時は同窓会で植えたが、放棄するという話になっているので、どうなのか。

【町長】

町有林の件については、場所を確認して対応したい。

川北のモデル事業でも、モデル事業ですので、やっていただいた方の支援を厚くしてはいるが、この流れを全町に広げていけないかと模索している。農業者も防風林の必要性への考えは、半々。必要派、不要派。町としては増やしていきたいという考えなので、それに対する地域の皆さんへの支援は行っていきたい。

民有地への支援策は特に耕地防風林だとあまりないのが実態であるが、皆さんの意向も踏まえて支援について考えていきたい。

【意見】

子どもが保育園。これからの小学校、中学校となっていく中で、地域に子どもはなかなか増えないと思うのだが、どう考えているのか。

【教育長】

現状では、令和8年度まで学校配置計画が決まっており、これに則って進めている。令和9年度からスタートする次の配置計画に向けて、先日、PTA役員の方とも意見交換を非公式に行っている。

いろいろな意見があるので、難しさもあるが、今後、地域の皆さんとの協議を継続していきたい。

統廃合のことにもつながることから、いろいろな

声があると思うので、慎重に検討していきたい。

【意見】

令和8年度まではいまのままということ？

【教育長】

そのとおりで、今後、令和9年度からの8年間に向けての議論を進めていきたい。



(11:30終了)